

肥満症の薬物療法(ウゴービ®)による治療について



聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

代謝・内分泌内科

2023 年 11 月、特定の患者要件を満たした肥満症の患者さんに対して持続性 GLP-1 受容体作動薬セマグルチド(商品名ウゴービ®皮下注)が肥満症治療薬として保険収載されました。肥満症の薬物治療は肥満症に対する十分な理解のもと、安全・適正に使用されることが望まれます。聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科では、日本肥満学会が定めた「肥満症治療薬の安全・適正使用に関するステートメント」(http://www.jasso.or.jp/data/Introduction/pdf/academic-information_statement_20231127.pdf)を遵守し、肥満症に精通した医師による診療と管理栄養士による適切な栄養指導のもと、安全性に配慮しながら適正に本剤による治療を保険診療で実施しています。

- 本剤の保険適応となる患者さん要件は、肥満症と診断され、かつ①を必須項目とし、さらに②あるいは③のいずれかを満たす場合です(つまり①+②、あるいは①+③)。

- ① 高血圧、脂質異常症又は 2 型糖尿病のいずれかに対して薬物療法がなされていること。
- ② BMI^{※1} が 35 以上であること。
- ③ BMI が 27 以上 35 未満であり、11 項目の「肥満に関連する健康障害」^{※2}のうち合計2つ以上を有すること。

※1 BMI とは体格指数(Body mass index)のことであり、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で求められます。

例) 身長 155cm の場合、体重 64.9kg が BMI27 に相当し、体重 84.1kg が BMI35 に相当します。

身長 165cm の場合、体重 73.5kg が BMI27 に相当し、体重 95.3kg が BMI35 に相当します。

身長 175cm の場合、体重 82.7kg が BMI27 に相当し、体重 107.2kg が BMI35 に相当します。

※2 「肥満に関連する健康障害」とは以下の 11 項目です。このうち 1)~3)の 1 つ以上を満たすことは必須項目です。

1)耐糖能障害(2 型糖尿病・耐糖能異常など)、2)脂質異常症、3)高血圧、4)高尿酸血症・痛風、5)冠動脈疾患、6)脳梗塞・一過性脳虚血発作、7)非アルコール性脂肪性肝疾患、8)月経異常・女性不妊、9)閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群、10)運動器疾患(変形性関節症:膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症)、11)肥満関連腎臓病。

- 本剤はご自身または家族の方が腹部、大腿、上腕に注射していただく**週 1 回の注射製剤**です。注射方法は簡便で当科スタッフが指導します。
- 本剤の治療にあたっては適正使用ステートメントに準拠します。すなわち、投薬治療に先立ってまず医師による診察、検査および適切な食事療法や運動療法の指導と、2 か月に 1 回以上の頻度で管理栄養士による栄養指導を 6 か月以上継続する必要があります。(従って**受診から投薬開始まで最低でも 6 か月を要します。**)

- ・ 投与開始 3～4 か月間は毎月、それ以降は 2～3 か月に 1 回、外来診療で全身状態、体重、血糖、血圧、脂質等および副作用の有無の確認を行います。また 2 か月に 1 回以上の管理栄養士による栄養指導を含めた適切な食事療法・運動療法を継続します。効果がある場合、最大 68 週間まで投与することが可能です。
- ・ 本剤投与開始後 3～4 か月間たっても改善傾向が認められない場合には投与を中止します。
- ・ 本治療を希望される患者さんは、当院の他科を受診中であればまず主治医にご相談ください。
- ・ 当院を初めてご利用される患者さんは、現在通院中の医療機関からの紹介状が必要です。お手数ですが、かかりつけの医師にご相談の上、医療機関からご紹介いただきますようお願いいたします。
- ・ 紹介状がなくてもご受診いただけますが、診療費のほかに選定療養費として 7,700 円(税込)をご負担いただきます。より適切な診療のためにも紹介状をご用意願います。

★ 肥満症に対する減量入院も実施しています ★

代謝・内分泌内科では、肥満症の患者さんを対象に、約 2 週間のプログラムによる減量入院も実施しています。入院中の治療には、医師管理下での低カロリー食による食事療法や合併する糖尿病、脂質異常症、高血圧などの健康障害に対する評価・治療、管理栄養士による栄養指導、作業療法士による運動療法、食行動質問票、グラフ化体重日記や 30 回咀嚼法などの行動療法が含まれます(本入院中にウゴービ®を投与することはありません。)。肥満症に対する減量入院を希望される患者さんは、当科にご相談ください。